

なばたけの除草のくふう

田んぼのくふう例

◎今までの世話になった
アマガモたち... として今年取り組み



- ① 米ヌカ散布
- ② 深水
- ③ 緑肥のすき込み
- ④ 動力除草機
- ⑤ 人力除草

なばたけの田んぼには
梅の多い田んぼの
あつう間に
生えている...

田んぼの
ヒエと
とって生命力が
強く、種をばらし
あつう間に
増えている...

見かけ上は
見れる葉が
あつう間は
たくさん
とやんでいる。

New ① 米ヌカ散布 ...

米ヌカを田んぼ全体にくまなく散布。
米ヌカは軽く、風で飛ばされやすいので、全
まの散布が難しいです。

米ヌカが分解される過程で出る**有機酸**が
雑草の根をやいてくれ、結果、草がよくなる！
です。

又、米ヌカは、米の味、とくにうまみ
を増してくれるとも言われます。



New ② 深水 ...

稲の生育に欠かせない水。
通常3~5cm位のもの。深水は深く、
15cm位までなるよう水をほります。
深水をほると、酸欠状態になり、
とくにヒエや草の生えのをおさえます。



New ③ 緑肥のすき込み ... (菜の花)

稲刈り後の田んぼに菜の花の種をまきました。
四月には満開!!となり、人の目を集めてくれました。
そして、花も、茎も一斉にすき込みます。①の米ヌカと
同じように分解される過程で**有機酸**が発生し、
根をやいてくれるのです。

又、菜の花をすき込んだ田んぼの水はかたりに溶けてい
ました。水がにごっていると、光を遮断し、草は光合成が
できず、ほろいともなります! 理由は、
かたりに溶けた**有機酸**が、植物の
光合成の妨げと
関係しています。



New ④ 動力除草機 ...

今年にはアマガモがいない分、
これをもって、根をいじめるのが十分
注意を払う。ひたすら田んぼの中を
歩きました。株と株の間の草は
刈り効果はみられませんでした。
←来年の課題です。

⑤ 人力除草 ...

炎天下のもと、腰を曲げての草取り
は、かなりきつい作業ですが、ある程度
大きめに草が育つまでは欠かせません。
改めて、草の成長の早さには驚かされ
ます。草の成長が早いから、人の手も早く
必要です。

